

学校法人岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校
2023年度 第2回学校関係者評価委員会

日 時 2023年10月20日（金）16:30~17:30

委 員 品濃町内会関係者様、西横浜国際病院関係者様、東戸塚記念病院関係者様、
亀田森の里病院関係者様、学校長、教務部部長、次長2名、ほか教職員6名

内 容

I. 校長挨拶

本年度第2回目の学校関係者評価委員会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。ようやくコロナも落ち着きまして、対面授業を行っています。何よりも学校の学生生活も大変良い環境で教育ができています。4月に新入生を迎えまして、1年生から4年生まで休学や退学もなく良い取り組みができています。今年の2月の国試結果もますます良かったということで、学生募集も順調で、このあと何回か入試がある状況で定員を超えることができそうです。本日は、委員の方にご意見をいただきまして、本学の学校運営・教育に反映させていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

II. 自己評価表（全て資料に基づき報告）

2023年度の前期進捗状況と達成状況、2023年度後期に取り組むべき課題等について資料に示しました。

以下は、補足事項

1. 教育理念・目標（瀬古教務部部長）

・資料参照

2. 学校運営（瀬古教務部部長）

・COVID-19 対応については夏期の臨床実習期間について感染対策を一時的に強化したが、現在は緩和しています。

3. 教育活動

【シラバス・カリキュラム（中村次長）】

資料参照

【教育力向上（田中課長補佐）】

資料参照

【臨床実習（瀬戸山専門官）】

資料参照

【情報公開（中村次長）】

資料参照

4. 教育成果

【資格・卒業研究（田中課長補佐）】

- ・中級の認定をとるために 80 時間のボランティアが必要になるため、様々なボランティアに学生が参加しています。

【国家試験・卒業試験（武田専門官）】

- ・資料参照

【臨床実習、留年・退学者防止、卒業生（中村次長・水島次長）】

- ・今年度より 4 年次の臨床実習は OSCE での単位認定となりますので、理学療法学科では明日 OSCE を実施します。評価者として本校の教員 8 名、外部 2 施設から 8 名の先生にご協力いただき実施します。今回初めてになりますので、終了後に外部の先生方からご意見いただき、次年度に向けて修正していきたいと考えています。
- ・作業療法学科の 3 年生の未実施 1 名は今後指導を行っていきます。
- ・作業療法学科の 4 年生の 1 名のキャンセルは 2 期目で保留になった学生です。
- ・理学療法学科の 1 年生で学力が追い付いていない、集団から乖離している学生が進路に悩み始めている状況です。そのため、担任や学力強化担当によるフォローを行っていききたいと思います。
- ・いろいろな領域で活躍している卒業生の話を聞くことで、きつい勉強ばかりでなく、夢も与えられたらと考えています。

5. 学生支援

【社会性（田中課長補佐）】

資料参照

【行事（机課長補佐）】

資料参照

【個別指導（中村次長）】

- ・学生対応について教員が迷う学生も出てきている。スクールカウンセラーの利用については積極的に利用をすることで、教員がどのように学生に対応していったらよいかという情報を得ていきたいと考えている。

【健康管理・防犯、就職支援、災害対策、経済援助・活動援助（瀬古教務部部長）】

- ・10 月頭にすべての学生が臨床実習を終えて学校に戻ってきています。現在、就職活動を活発に行っている状況です。
- ・コロナが 2 類から 5 類に移行しクラブ活動についてが活発に行われています。

6. 教育環境

【教室（武田専門官）】

・古いものを随時、刷新しています。

【図書、設備・備品（武田専門官）】

資料参照

7. 学生募集（瀬古教務部部長）

資料参照

8. 社会貢献

【地域貢献（中村次長）】

資料参照

9. 法令等の遵守

【法令遵守（瀬古教務部部長）】

資料参照

IV. 質問・意見

重田様：授業アンケートを外部に公開できないということについて、授業アンケートの内容は岩崎学園 7 校で共通のものを実施しているのでしょうか。

中村次長：共通のものになっています。

重田様：その 7 校についても外部に公開はしていないのでしょうか？

中村次長：7 校も公開はしていません。

重田様：外部に公開するとしたら、横リハだけではなく岩崎学園としてどうしていくかということになるのでしょうか？

中村次長：それは切り離しても問題はないと思います。学生にアンケート結果についてフィードバックをしています。コメントの内容についてありのまま公開することは難しいのではないかと考えています。

重田様：病院でも患者様の声を取っているが、そのまま公開するとしたらそれを見た患者様が不安になってしまう可能性があり、難しさを感じています。

中村次長：1 人の学生が感じたことが文章化されていることがすべてと思われることから公開に難しさを感じています。

藤井様：授業アンケートは基本的には公開しなければならないものなののでしょうか。岩崎学園以外の他の学校では公開しているのでしょうか？

水島次長：大学等では卒業生や保護者などに対し、限定して公開しているところはあります。本校でも一部限定公開のような形で公開することはできるのではないかと考えています。

藤井様：これから横リハを受けようとする高校生が見たい内容・項目なのかというところがわからないが、見たいという声が大きいのであれば公開する必要性があると思います。

水島次長：高校生は SNS など口コミ評価などを参考にすることが多いので、その辺りは微妙である。

今後リサーチして検討していきたい。

田中課長補佐：ただ、本校の授業アンケートの結果は概して良いです。一部、いろいろな意見は出てくることもあります。全般的に見て良い結果だと思います。悪いことが多いので公開していないというわけではありません。

藤井様：ノートパソコンを貸与しているということで、実習を指導している中でいろいろなデータが入っていて、ずいぶん指導の仕方も変わったと感じている。OT 学科で実習指導報告書を Google フォームで出しているが、学生は見れる形になっているのでしょうか？

水島次長：学生はタイムリーには見れないので、後日、紙面にして学校から学生に渡しています。

藤井様：後日、紙面で見られるのであれば良いが、学生と一緒に確認ができると良いと思うので、今後検討していただきたいです。

水島次長：次年度から検討していきます。ありがとうございます。

戸羽様：教育現場で使われているものかどうか分からないが、ChatGPT の利用については学校の教育現場で使える場面はありますでしょうか？

瀬古教務部長：就職活動に向けた履歴書の添削や小論文の添削に使用しています。もともと「てにをは」を直していたものを ChatGPT を使用することでその修正の時間や手間を減らしています。その後、教員が内容を確認し、アドバイスをしています。

戸羽様：ChatGPT だけでは心配になりますが、内容を確認していただけているのであれば安心です。

瀬古教務部長：私たちも入試の願書で志望動機や自己 PR などを ChatGPT を使用して記載してくるのではないかと懸念していましたが、今のところは見当たりません。

田中課長補佐：先日、学生がレポートを ChatGPT を使用して作成したものを提出してきたことはありました。

中村次長：明らかに学生が書く文書ではないだろうというのが出てきています。明らかにわかります。学生の履歴書については、こちらの添削は楽になっていますが、例えば学生が「コミュニケーション」の内容を入れるとひたすらコミュニケーションについてのみの偏った文書になってくるので、うまく利用する必要があると思います。

戸羽様：ChatGPT に頼りすぎてしまうとその人が考えている本心が伝わらないということもあるので、難しさがあるなと感じています。スタートでそれを使われ過ぎてしまうと、違うなと思ってしまうため、その辺りを聞くことができ安心できました。

松田様：つなぐカフェや体力測定会を展開していただき、いつもありがとうございます。地域の皆様も喜んでいきます。災害時のことになりますが、コロナで秋祭りを中止していましたが、今後は秋祭りを計画しています。その際に炊き出し訓練をしているので、次年度以降、情報共有ができると良いと考えています。学園祭も楽しみにしております。

戸塚区でハートプランというのがあり、スタンプラリーをしています。10 月に川上地区で実施をします。また今後、このような町内活動に学生さんも参加していただけたらと思うので、よろしく願いいたします。

水島次長：ありがとうございます。今回頂いたご意見を集約し、次年度につなげていきたいと思えます。

V. その他

次回の会議について（水島次長）

第2回の会議開催についてですが、2024年4月19日（金）16:30から対面で開催いたします。

以上

作成：瀬古